授業科目	保育の計画と評価（教育課程含む）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	櫻井　裕介						
授業概要	1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の性格及び位置づけならびに教育課程・全体 的な計画編成の基本原理を解説する。 2. 教育課程・全体的な計画のつながりを理解し、子どもの発達過程と 5 領域を考慮した保育内容の設定と指導計画の作成がで きる力を培う。 3. 計画、実践、省察、評価、改善の過程についてその全体構造を理解しするとともに、評価の視点を養う。 ＊認可幼稚園（主任教諭含む）、認可保育所園長経験から園や子どもの画像や映像を通して、より具体的で実践的な授業展開 に取り組む。						
授業形態	講義			授業方法	講義・ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解している。 2. 教育課程・全体的な計画の編成から長期の指導計画作成の基本を理解している。 3. 教育課程・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解している。 4. 子ども理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を捉え、理解している。 5. 指導要録・児童要録について、その必要性を理解し意義を説明することができる。 教育課程・全体的な計画と指導計画の関連の必要性が分かり、実際に指導計画を立てることができる。また、その筋道を理解する。
理想的レベル	1.関連するガイドラインや園の状況や子どもの実態を生かした教育課程・全体的なを編成し、指導計画を作成することがで きる。 2.指導計画を実践し、保育を振り返る PDCA サイクルを理解し説明することができる。 3.保育における自己評価と第三者評価の視点を理解し、保育活動の改善につなげることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	40%	
小テスト		
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH21301J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
テキストの予習・復習	4

授業計画	
第1回	授業ガイダンス 保育所と幼稚園、認定こども園の制度的役割
第2回	保育所と幼稚園の制度的な位置 幼稚園と保育所、遊びを通した指導について
第3回	保育所と幼稚園、人的環境としての保育者の役割
第4回	保育所と幼稚園、物的環境構成について保育者の役割
第5回	保育の目標（保育所・幼稚園と小学校以降の違い） 社会的資源の活用と社会的意義　　子どもを取り巻く環境と保育の方法
第6回	子どもを取り巻く環境と保育の方法 教育課程・全体的な計画作成の基本原則と意義
第7回	教育課程・全体的な計画作成の基本原則と意義
第8回	教育課程・全体的な計画作成と指導計画の関連性
第9回	指導計画と5領域・幼児期の終わりまでに育てたい10の姿
第10回	指導計画と5領域・幼児期の終わりまでに育てたい10の姿教育課程の編成から長期指導計画へ 児童要録作成の視点
第11回	教育課程の編成から長期指導計画へ
第12回	長期の指導計画から短期の指導計画作成へ
第13回	保育における自己評価と第三者評価 保育の質確保と向上のために
第14回	教育課程・全体的な計画のPDCAサイクル
第15回	まとめ
テキスト	櫻井裕介「新教育課程総論ワークブック」櫂歌書房　2019年
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「保育所保育指針解説書」・「幼稚園教育要領解説書」．フレーベル館
課題に対するフィードバックの方法	レポートは個人が特定できないように配慮し、内容について全体へ口頭でフィードバックする。
学生へのメッセー	1．他教科での学びを、「保育の計画と評価」の中で生かすために、学習した内容や資料を整理し、まとめておくこと。

ジ・コメント	2．身近な子どもの様子やニュースを保育の視点で考えること。 3．子どもの遊びに興味関心をもって調べること。 ＊　各回レポートの質問については次回授業時に口頭で対応する。